

ふなばし三番瀬海浜公園 海浜植物の生育状況について

1. 現地調査日程

- 調査日時：H23年6月8日 10:00~17:00(雨のち晴れ)
- 調査範囲：ふなばし三番瀬海浜公園南側の海岸
- 調査方法：調査範囲を踏査し、緑化対象種(移植種)の生育状況を確認した。また、生育範囲または株数を概算し、開花・結実の有無、生育状態を記録した。

2. 調査結果の概要

ふなばし三番瀬海浜公園の緑化対象種の生育状況は、いずれの種も良好であり、護岸の移植に必要な個体数の採取によって、現存の植生に与える影響は小さいと考えられる。

- ハマダイコンは、調査範囲東側の生育地の一部消失や株数の減少した地点があったが、ほとんどの個体が開花・結実し、生育状態は良好であった。
- ハマヒルガオは、生育地である砂丘列が侵食または陥没したが、H20年と比べて後背のヨシ群落付近まで生育範囲が拡大しており、生育状態は良好であった。
- イワダレソウは、H20年と比べて生育範囲が拡大し、生育状態は良好であった。
- ハマニンニクは、東日本大震災の影響により、汀線付近に生育していた群落が消滅していたが、調査範囲東側の砂だまりに新たな群生が確認され、生育状態は良好であった。
- コウボウシバは、調査範囲全域に広く群生しており、生育状態は良好であった。

表1 今回の調査で確認されたおおよその面積

	護岸の緑化に必要な緑化対象種の主な面積	今回確認されたおおよその面積
ハマニンニク	0.8m ² 相当(/65m ²)	約15m ²
コウボウシバ	面積換算不可(/多数)	約450m ²
ハマダイコン	0.6m ² 相当(/400m ²)	約100株+約100m ²
ハマヒルガオ	0.3m ² 相当(/140m ²)	約160m ²
イワダレソウ	面積換算不可(/-)	約35m ²

注) 緑化に必要な面積は、「平成22年度 海岸高潮対策委託(護岸検討その4)」を参考に作成

前回(H20年) 今回(H23年)

1 海岸側に生育していた海浜植物の群落が流失している様子

2 地割れが発生している様子

3 汀線の変化により、侵食されている様子

4 新たに形成されたワンド

H23年3月に発生した東日本大震災の影響により、汀線の変化や地盤の液状化、沈下に伴う地形変動が著しい状態であった。汀線付近に生育する植物への影響は大きかったと考えられるが、緑化対象種については、生息地が消失したものの、すべての種の生育が確認された。

(参考図) 前回(H20年)と今回(H23年)調査時における環境の比較

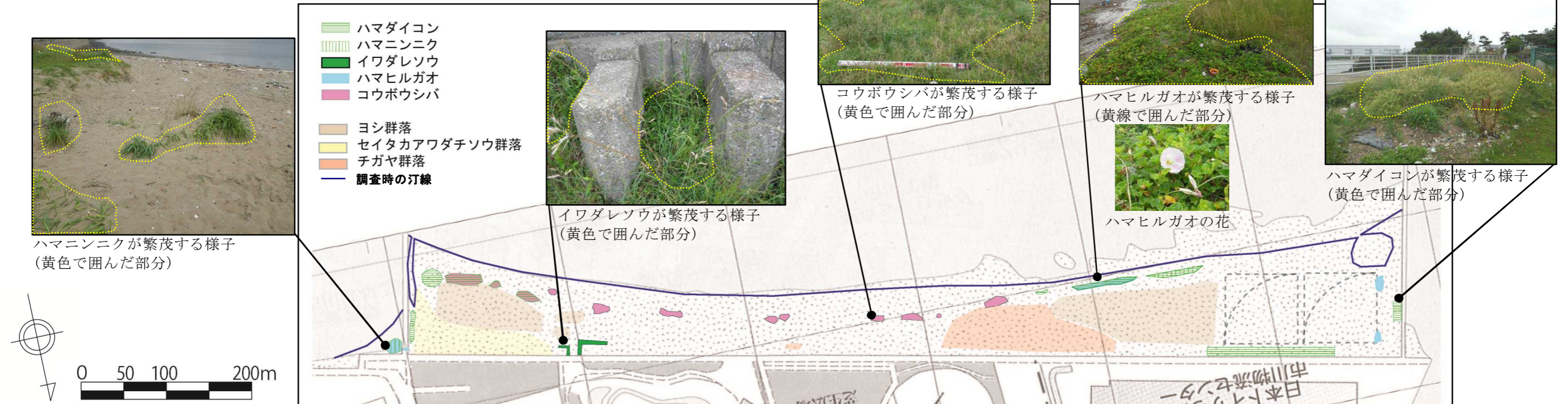


図1 (ふなばし三番瀬海浜公園における)緑化対象種(移植種)の生育状況